



## 平成27年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月2日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社イオンファンタジー

コード番号 4343 URL <http://www.fantasy.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 片岡 尚

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理統括兼リスクマネジメン  
ト担当 (氏名) 新田 悟

TEL 043-212-6203

四半期報告書提出予定日 平成26年7月8日

配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年2月期第1四半期の連結業績(平成26年3月1日～平成26年5月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第1四半期	11,425	0.2	522	38.2	479	13.6	184	23.7
26年2月期第1四半期	11,398	6.5	377	△37.4	422	△29.6	148	△44.8

(注)包括利益 27年2月期第1四半期 119百万円 (67.1%) 26年2月期第1四半期 364百万円 (140.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第1四半期	10.15	10.11
26年2月期第1四半期	8.20	8.18

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年2月期第1四半期	26,916	20,475	74.8
26年2月期	27,978	20,618	72.5

(参考)自己資本 27年2月期第1四半期 20,122百万円 26年2月期 20,278百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	15.00	—	15.00	30.00
27年2月期	—				
27年2月期(予想)		15.00	—	15.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年 2月期の連結業績予想(平成26年 3月 1日～平成27年 2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	25,000	4.3	1,700	2.6	1,700	0.8	850	3.4	46.86
通期	50,000	7.4	3,000	18.3	3,000	13.4	1,400	25.3	77.18

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 3 「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年2月期1Q	18,175,688 株	26年2月期	18,175,688 株
27年2月期1Q	35,836 株	26年2月期	37,109 株
27年2月期1Q	18,139,863 株	26年2月期1Q	18,137,246 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

**（1）経営成績に関する説明**

2015年2月期第1四半期累計期間は、「スピード最優先」をテーマに「①店舗数の拡大、②ゲーム機の海外調達、③ブランディング推進」といった3つの重点施策を「成長を支える戦略サイクル」と位置付け、圧倒的なコスト優位と差別化の実現に向けた取組みを進めてまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高114億25百万円（前年同期比0.2%増）、営業利益5億22百万円（同38.2%増）、経常利益4億79百万円（同13.6%増）、四半期純利益1億84百万円（同23.7%増）となりました。

**（国内事業）**

国内事業は、4月1日からの消費税増税に対し価格転嫁を見送り、原価やコストの削減で利益確保をめざすことを早期に意思決定し、プロジェクト活動で計画された具体的な削減策を実行いたしました。中でも遊戯機械調達の海外シフトによる減価償却費の削減や店舗業務に応じた人員配置計画に対する進捗コントロールを強化するなどコスト低減が奏功し、利益確保に一定の成果をあげました。

一方、国内における成長基盤の拡大をめざしイオン系ショッピングセンターに加え、グループ外への新規出店に注力いたしました。当第1四半期においてはイオン系3店舗の出店となりましたが、7月にはスマーク伊勢崎や8月には東京スカイツリータウンへの出店が決定しております。

以上の取組みの結果、国内事業の当第1四半期の売上高は104億86百万円（前年同期比4.3%減）と消費税の影響等がありましたが、営業利益は5億73百万円（同23.2%増）となりました。

**（海外事業）**

海外事業については、中国は売上高5億29百万円（前期実績1億55百万円）、営業損失53百万円（同78百万円）。マレーシアは売上高3億14百万円（同2億52百万円）、営業利益12百万円（同1百万円）。タイは売上高1億4百万円（同47百万円）、営業損失5百万円（同10百万円）となり、3子会社とも前年から利益改善が進んでおります。また、新規出店は中国2店舗、マレーシア3店舗、タイ1店舗となります。

これにより海外事業の業績は、売上高9億48百万円（前年実績4億54百万円）、営業損失50百万円（同87百万円）となりました。

**（2）財政状態に関する説明**

**（資産）**

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、90億56百万円となり、前連結会計年度末に比べ21億81百万円減少いたしました。主な内訳は、当第1四半期会計期間末日が金融機関の休日のため、売上預け金のうち22億57百万円が翌営業日に決済されたことによる売上預け金の増加（27億79百万円）や関係会社寄託金の減少（60億円）であります。

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、178億59百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億19百万円増加いたしました。主な内訳は、新店及び店舗活性化等に伴う遊戯機械の増加（9億93百万円）であります。

この結果、総資産は269億16百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億61百万円減少いたしました。

**（負債）**

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、61億13百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億18百万円減少いたしました。主な内訳は、未払法人税等の減少（8億44百万円）であります。

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、3億27百万円となりました。

この結果、負債合計は64億41百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億18百万円減少いたしました。

**（純資産）**

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、204億75百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億43百万円減少いたしました。主な内訳は、四半期純利益の計上（1億84百万円）や剰余金の配当による減少（2億72百万円）であります。

**(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明**

平成26年4月8日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想から変更はありません。

**2. サマリー情報(注記事項)に関する事項**

**(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動**

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、当第1四半期連結累計期間において、AEON FANTASY GROUP PHILIPPINES INC.を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

**(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示**

**(会計上の見積りの変更)**

従来より、当社及び連結子会社が保有する有形固定資産の遊戯機械の耐用年数については、各資産の使用実態を勘案して2～6年の範囲内で減価償却を行ってきましたが、当連結会計年度から開始する中期経営計画におけるオリジナル遊戯機械等の導入方針に基づき使用期間を見直した結果、一部の遊戯機械について従来の耐用年数よりも長期間使用する見込であることが明らかとなったため、耐用年数の範囲を2～9年に変更しております。

また、遊戯機械の耐用年数の変更を契機に、当社が保有する有形固定資産の残存価額について見直しを行った結果、当連結会計年度より備忘価額に変更しております。

この変更に伴い、従来の方法と比較して、当第1四半期連結累計期間の減価償却費が357,903千円減少し、営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益が同額増加しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,246,115	3,742,837
売上預け金	101,669	2,880,715
たな卸資産	1,053,891	1,420,461
関係会社寄託金	6,000,000	-
その他	836,828	1,012,710
流動資産合計	11,238,505	9,056,724
固定資産		
有形固定資産		
遊戯機械(純額)	9,355,109	10,348,785
その他(純額)	3,534,873	3,668,704
有形固定資産合計	12,889,983	14,017,489
無形固定資産		
のれん	824,230	760,367
その他	124,649	152,875
無形固定資産合計	948,880	913,243
投資その他の資産		
敷金及び差入保証金	2,174,925	2,206,885
その他	726,186	722,224
投資その他の資産合計	2,901,111	2,929,110
固定資産合計	16,739,975	17,859,843
資産合計	27,978,480	26,916,567
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	994,840	1,076,032
未払費用	850,116	1,259,605
未払法人税等	1,231,791	387,445
賞与引当金	205,231	335,946
役員業績報酬引当金	25,778	14,732
閉店損失引当金	10,956	5,640
設備関係支払手形	1,867,704	2,088,096
その他	1,846,010	946,155
流動負債合計	7,032,430	6,113,653
固定負債		
退職給付引当金	32,019	34,381
資産除去債務	220,310	217,149
その他	75,018	76,321
固定負債合計	327,347	327,852
負債合計	7,359,778	6,441,506

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,747,139	1,747,139
資本剰余金	1,709,697	1,709,697
利益剰余金	16,358,418	16,270,381
自己株式	△57,270	△57,296
株主資本合計	19,757,983	19,669,921
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,592	15,405
為替換算調整勘定	505,267	437,195
その他の包括利益累計額合計	520,860	452,600
新株予約権	66,142	74,744
少数株主持分	273,715	277,795
純資産合計	20,618,702	20,475,061
負債純資産合計	27,978,480	26,916,567

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)
売上高	11,398,877	11,425,332
売上原価	10,278,111	10,153,953
売上総利益	1,120,765	1,271,378
販売費及び一般管理費	742,862	748,948
営業利益	377,903	522,430
営業外収益		
受取利息	3,477	4,044
為替差益	43,352	-
機械仕入割戻	1,946	2,840
その他	4,372	11,082
営業外収益合計	53,148	17,968
営業外費用		
為替差損	-	50,654
固定資産売却損	8,329	3,584
その他	631	6,793
営業外費用合計	8,960	61,032
経常利益	422,091	479,365
特別損失		
閉店損失引当金繰入額	17,252	5,640
減損損失	27,530	3,278
店舗閉鎖損失	-	2,413
特別損失合計	44,783	11,332
税金等調整前四半期純利益	377,308	468,033
法人税、住民税及び事業税	81,033	362,807
法人税等調整額	146,496	△78,429
法人税等合計	227,529	284,378
少数株主損益調整前四半期純利益	149,779	183,655
少数株主利益又は少数株主損失(△)	1,023	△406
四半期純利益	148,755	184,061

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	149,779	183,655
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,609	△187
為替換算調整勘定	209,353	△63,586
その他の包括利益合計	214,963	△63,774
四半期包括利益	364,742	119,880
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	336,493	115,801
少数株主に係る四半期包括利益	28,249	4,079

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	国内	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,944,312	454,564	11,398,877	—	11,398,877
セグメント間の内部売上高又は振替高	7,563	—	7,563	△7,563	—
計	10,951,876	454,564	11,406,440	△7,563	11,398,877
セグメント利益又は損失(△)	465,018	△87,114	377,903	—	377,903

(注)セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	国内	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,476,956	948,375	11,425,332	—	11,425,332
セグメント間の内部売上高又は振替高	9,430	—	9,430	△9,430	—
計	10,486,387	948,375	11,434,762	△9,430	11,425,332
セグメント利益又は損失(△)	573,304	△50,874	522,430	—	522,430

(注)セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(耐用年数の変更)

「会計上の見積りの変更」に記載のとおり、当社及び連結子会社は、一部の遊戯機械の耐用年数を変更し、また当社が保有する有形固定資産の残存価額について見直しを行いました。

この変更により、当第1四半期連結累計期間の「国内」のセグメント利益は312,836千円増加し、「海外」のセグメント損失は45,067千円減少しております。